



発見！多景島

活動のねらい

- 多景島の展望を通して、多景島に対する人々のはたらきかけを知るとともに古代のロマンを感じる。

【時期】 通年

【場所】 甲板

【時間】 約10分

【準備物】 ●双眼鏡

主な活動の流れ

事前学習

- 琵琶湖に多景島という島があることを知る。
 - ・多景島の写真を使い、島の形や自然の様子・様々な建築物があることなどを知らせる。

多景島ってどんな島？調べてみよう！

- ①「うみのこ」から多景島を見て、目についたものを記録しよう。
 - ・自分で調べたことと比べながら展望させる。
- ②展望放送を聞き、建築物・湖底遺跡などについて知る。
 - ・多景島に対する人々のはたらきかけを知らせたり、古代のロマンを感じさせたりする。
- ③展望してわかったことをワークシートに記入する。



〈多景島〉

フローディングスクール

事後学習

- 多景島の歴史を調べる。
- 友だちと意見を交流することで、自分たちの住んでいる所の歴史等を調べる。

参考資料

- ・彦根港の沖合約6kmの所にあり、周囲が約600m、湖面からの高さが約20mの島。
- ・もともとは全体が岩の島だったが、彦根の荒神山から土を運んで木を植えた。
- 〔見塔寺〕1655年、妙法寺（現在の長浜市）の僧侶、日靖が建てた寺。
- 〔題目岩〕大きな岩（高さ約10m）に、「南無妙法蓮華經」と文字が彫ってある。江戸時代、日靖が約3年かけて文字を彫ったといわれている。平成16年（2004年）に文字が金色に塗られた。
- 〔誓いの御柱〕大正時代に建立。御柱には「五箇条の御誓文」が刻まれている。
- 〔湖底遺跡〕昭和57年（1981年）、棧橋工事中に湖底から遺跡が発見される。遺跡からは、土器・古銭・金属製品等が発見され、中には1000年以上も前の土器もあった。（古代より人々がこの島と関わりをもっていたことが判明する資料が出土。）